

【フェンシング】女子サーブルワールドカップ チュニジア大会で金・銅のダブルメダル獲得！

江村美咲選手が女子サーブル日本初の金メダル、小林かなえ選手が銅メダルのダブル表彰台

現地時間2022年5月7日(土)にハンマメット(チュニジア)で開催された、フェンシング女子サーブルワールドカップチュニジア大会にて、江村美咲選手(立飛ホールディングス)が金メダル、小林かなえ選手(三重クラブ)が銅メダルを獲得致しました。女子サーブルのシニアワールドカップ優勝は日本初、シニア日本女子サーブルのワールドカップで2名が表彰台に上るのは2016年フランス大会以来の快挙となります。

今大会を世界ランキング14位で迎えた江村選手は、ベスト16で世界ランキング10位のGKOUNTOURA選手(ギリシャ)との接戦を制すると、準々決勝ではBAKASTOVA選手(ウクライナ)に圧勝。一方、世界ランキング122位で予選から勝ち上がった小林選手は、ベスト16で世界ランキング6位のPUSZTAI選手(ハンガリー)との接戦に勝利すると、準々決勝ではQUEROLI選手(フランス)に大逆転し、準決勝に進出しました。

準決勝では両選手が対戦し、15対12で江村選手が勝利。決勝でも世界ランキング9位のGEORGIADOU選手(ギリシャ)との接戦を15-13で勝ち切り、見事金メダルを獲得しました。



ベスト16(小林選手)



決勝戦(江村選手)

シニア日本女子フルーレのワールドカップ・グランプリ大会メダル獲得は2020年3月のワールドカップギリシャ大会大会(江村選手・銅)以来、金メダルは日本女子サーブル史上初の快挙です。また小林選手は自身初のシニアワールドカップメダル獲得、日本選手のダブル表彰台は2016年11月のワールドカップフランス大会(田村選手・銅、青木選手・銅)以来となります。



左から：GEORGIADOU選手(ギリシャ)、江村選手、小林選手、APITHY-BRUNET選手(フランス)



江村美咲選手(立飛ホールディングス)



小林かなえ選手(三重クラブ)

【本人コメント】

江村選手：

試合前から「勝てない相手は居ない、目標は優勝」と考えていましたが、1試合目で反省点がかなり多かったので、オフエンシブに修正して戦ったのが良かったと思います。

今までは自分のフェンシングに囚われていましたが、新しいヘッドコーチ(ジェロームコーチ)が「フェンシングはその日によって決まる技も変わるし、相手によっても変わる」と言っていたことを思い出し、いつもとは違うスタイルの戦い方でも、柔軟に受け入れて修正できたことが優勝できたポイントだと思います。

ずっと目標にしていた金メダルに手が届き嬉しいですが、まだ実感が湧きません。明日の団体でもまだ獲っていない金メダルを目指して全力で戦います。

小林選手：

初めて表彰台に上がれてとてもうれしいです。次こそもっといい色のメダルが獲れるよう頑張ります。江村選手おめでとうございます。そして皆さま応援ありがとうございました！

以上

公益社団法人日本フェンシング協会のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/39246

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

公益社団法人日本フェンシング協会 広報担当：鳥山

電話：090-9348-4851

メールアドレス：toriyama.satoko@fencing-jpn.jp
